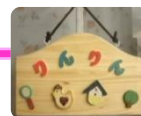


【2021年度 りんりんの会活動報告】

～令和3年4月～令和4年3月～



凧(りん)として “自分のために” ……背すじをのばして！

輪(りん)として “仲間のために” ……ひとりじゃないよ！

鈴(りん)として “広く社会のために” ……りんりんと響きあって！

※昨年に引き続き、今年度も定例会・勉強会・移動研修会（温泉に入ろう会）等の再開はかなわず、対面での交流も殆ど無いままに終わってしまいました。2年にわたってのコロナ感染症対策を念頭においての活動報告となります。

1. りんりん相談室・定例会の開催（大崎市図書館研修室にて）

*相談室

- 開催回数：3回（5/19 6/26 7/14）
- 参加者：6名+スタッフ延べ8名
- 対応内容：交流・相談 近況報告



*定例会

- 開催回数：1回（12/11）
- 参加者：6名
- 内容：近況報告(仕事・生活・メンタル等)

2. りんりん通信の発行

- 発行回数：6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- ※増刊特別号発行（10月：ピンクリボン月間のお知らせ）
- 発行数及び設置場所等：会員に毎回郵送・病院サロン(大崎・石巻)に設置
県内の関連施設に郵送 大崎市民病院HPに掲載



3. 補整用手作りパッド講習会の開催（※りんりんハンドメイドクラブ員3名が担当）

*大崎市民病院がんサロン

- 開催回数：2回（4/14 8/18）
- 参加人数：4名(他病院患者様2名含)

*石巻赤十字病院プレストセンターがんサロン

- 開催回数：3回（5/24 7/26 9/27）
- 参加人数：8名



4. 病院がんサロンでのピアサポート活動～高橋(代表)が担当～

★「がんピアサポーター」(※身近な情報の提供と体験者として思いを共有、気持ちを軽くするお手伝いをする人)として、それぞれの院内サロンで患者様対応をしています。

- 大崎市民病院がんサロン(2階 化学療法室隣り) 毎(火)・(水) サロンオープン時間：9:30～15:30
- 石巻赤十字病院プレストセンター「ピアサポートサロン」毎(月)・(木) サロンオープン時間：9:00～16:00

※どなたでも利用可能です。(但し、コロナ完成対策等の状況により時間変更などありますのでご確認ください。)

★「がんピアサポーター養成研修会」(宮城県) 受講(会員3名)

- 今年度2回(12月・1月) 継続で基礎編が開催されました。全体で8名のがん体験者の方々が受講されましたが、その中にりんりんの会から3名の会員が参加しました。
- 「がんピアサポーターに必要な基礎知識」としてZoomによる二日間の研修に取り組んでいただきましたが、りんりに参加されていた3名の方が受講されたことは、とても嬉しく今後の活躍が期待されると思います。



5. 『りんりん会員の声』を集めた冊子の作成

＊ ～みんなの声でつながろう～ RinRin のつづやき集 ＊

● 作成に当たり

会員の方々には2か月に一度、りんりん通信を送らせていただいておりますが、勉強会や交流会などが出来ない状況の中、不安を抱えながらも通院し治療を受けている患者様方は会員の方以外にもたくさんいらっしゃると思われ、皆さん、どうしているのかな～と心を痛めておりました。

● 会員皆さんへのアンケート実施

今回、「現況などを含めた皆さんの声を集めてみよう」とスタッフで話し合い、会員の方々のご協力を頂いてアンケートをまとめることが出来ました。定例会や楽しいイベントなどで集える機会が無くなってから、それぞれどのように過ごされていたのか、生活の変化や気づき、今思うこと…等など、近況報告も含めてつづやいて頂いた内容になります。

● みんなの声でつながろう

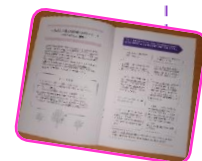
現実に対面での交流が出来ない環境ではありますが、患者さん(会員)の日常の声をたくさんの方々に聴いて(読んで)頂いて、この冊子で元気をもらったりホッとしたりする方が一人でもいてくださったら、そして、共感と新たな輪の広がりにつながっていったら、と考えました。

● たくさんの患者様方にも読んでいただきたい

会員には郵送し、手に取って読んで頂いておりましたが、他に、昨年りんりんパッドの情報を提供させていただいた県内外の病院に送付し、それぞれの場で活用していただいています。

【寄せられた感想】

- ★ うんざりしてしまう毎日ですが、自分だけじゃないと思い、ホッとする気持ちになりました。
- ★ 郵送で届き、すぐに読ませてもらいました。私が書いた文章が載っていて嬉しかったし、他の患者さん達がこんな風に過ごしていたんだ、ということがよく分かってホッとしました。(会員より)
- ★ 9月に手術。病院で「つづやき集」を頂き、読ませてもらいました。「みんな、どうしているんだろう…」と孤独な気持ちでしたが、皆さんの思いが伝わってきて、嬉しくて涙が出ました。一人じゃないんだな～と感じて、気持ちが落ち着きました。(他病院患者様より)



6. りんりんパッドの広報活動

＊ 「りんりんパッド情報」(紹介冊子・サンプルパッド) を山形県にも発信

- 昨年度、助成金(対がん協会様より)を活用し「りんりんパッド紹介冊子」と「サンプルパッド」を県内外のがん診療連携拠点病院や乳腺クリニック等に情報提供させて頂きましたが、その施設(病院)の中の相談員様から教えていただいたとこのことで、山形県の公共施設の相談員の方からお問い合わせとサンプル等のご希望のメールを頂きました。
- 患者様からの「下着やパッド」などのご相談も多く、具体策となる情報を探していらっしゃったとのこと。ありがたくお話を受け、早速、パッド紹介冊子を郵送。あわせてハンドメイド倶楽部(3名)でサンプル用パッドを作製し、郵送させていただきました。情報が乏しく、お困りの患者様方にお役に立ていただければと願っております。
- 更に、山形県では「ピアサポーター研修会」開催にあたり、参加されるピアの方々にも情報提供予定とのこと。この状況の中でRinRinに明るい話題が飛び込んできました。人とのつながりってホントに有難いですね。





7. その他 外部への情報発信

* 2/2(水)ミヤギnews every～代表(高橋) 参加

「ワールドキャンサーデー」(2/4) に合わせた特集が、2月2日(水)ミヤギnews every.(宮城テレビ)で放送されました。
～放送内容～

- ① 仙台在住の乳がんサバイバーさんのお話(がん体験者のインタビューと患者会の存在)
- ② 県立がんセンターの院長先生のお話(各病院に相談支援センターが存在しており、どなたでも相談出来る場所があること)
- ③ 「がん患者会サロネットワークみやぎ」副代表(高橋)の話(県内の患者団体と病院サロンなどが加入しているネットワークの活動紹介と患者会の意義など)

ワールドキャンサーデーがあることを先ずは知ってほしい!

それを機に「がん」について知ってほしい!

がんになる前に寄り添ってくれる場所があることを知っておいてほしい!

そんな思いで今回の企画を製作したいと決めました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

※製作担当者よりコメントを頂きました。

* 「第13回街角リボンサロンWEBセミナー」(in香川) に参加～講師:代表(高橋)

- 主催: ピンクリボンかがわ県協議会
- 講演(「がん患者からピアサポーターへ～がん体験が教えてくれたこと～」)とグループワーク

参加者: 29名+スタッフ数名

- ・宮城県から～10名(行政関係者・医師・ピアサポ研修受講者・患者様その他)
- ・香川県から～19名(県の担当者・患者会関係・病院スタッフ・医療スタッフ・患者様その他)

①香川県名産の讃岐和三盆糖を使用した内菓子♪

「検診を受けてね」というメッセージが込められているそうです。

②乳がんは唯一自分で見つけることのできるがん。豆の感触で、触って見つけられる乳がんの大きさが分かるそうです。(患者さん達で作製)

③ご当地ツルきやら「うどん脳」とコラボしたバッジもあります。



②「まめにチェック」



①「おっばい和三盆」



③「オリジナルピンバッジ」

* RinRin(りんりん)の会の紹介記事が「ヨミドクター」(読売新聞社医療サイトHP)に掲載

昨年12月、正力厚生会担当者様よりご連絡を頂き、「ヨミドクター」(医療サイト)にて、過去に助成事業でサポートした団体の活動報告を毎月掲載しているとのことで、りんりんにもお声がけいただきました。

7年前にさかのぼりますが、10周年記念講演会(りんりん研修会)を地域施設で開催。

「正力厚生会」様から助成金を頂き、前聖路加国際病院精神腫瘍科医師 保坂隆先生をお呼びしての講演・パネルディスカッション(パネラーは保坂先生の他に、吉田先生・体験者・専門看護師さん)を実施することが出来ました。その当時から7年も経過し、更にコロナ禍で活動もままならない状況ではありますが、「りんりんの紹介記事」を掲載していただくことで、今までの活動紹介とあわせて、東北宮城でも地道ながら長く継続して活動している団体があること、患者会としてピアとして、これからの希望(目標)など、たくさんの方々により身近に伝わっていただければと考えています。

